

【八丁堀だより】



◎ 月一報恩講(寺子屋サロン): 13時30分~15時
開催日は28日に固定し(土日なら直前の金曜日に変更)、
親鸞聖人の御命日にちなみ「月一報恩講」と呼ぶことにします。

月毎のテーマ

9/27(金) 「宗教とは何か」

10/28(月) 「何が幸せか」

11/28(木) 住職が東本願寺に出講するのでお休み

◎ 死別の分かちあいの集い: 13時~15時

・夫を亡くした方: 毎月第1土曜日(10/5・11/2・12/7)

・自死遺族の方: 毎月最終土曜日(9/28・10/26・11/30)

当事者の方々分ちあいの集いです。住職も参加します。

◎ 整体教室・寺ヨガ教室・よろず相談会

毎月開催していますが、日にちや曜日を固定していませんので、
お寺の掲示板をご覧ください。お寺までお問い合わせください。

◇ 寺院護持費(墓地管理費)について

例年 秋季彼岸会の時期は お納めいただく方が多く
玄関が混み合います。お振り込みもどうぞご利用ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

他金融機関からゆうちょ銀行へ振り込まれる際は、
次のように入力してください。

【名義】 チョウカクジ 【店名】 五一八(読み ゴイチハチ)

【店番】 518 (普通預金) 5577060

◇ 報告・連絡・“僧”談

今季の広島のプロスポーツは面白いですね。野球もサッカーも優勝したら、
バスケットボールとで3冠になります。日本シリーズのチケットも頑張りませぬ。

発行人: 超覚寺住職 和田隆彦(釋隆恩) (*-*)人i合掌

浄土真宗(真宗大谷派・東本願寺)



林鷲山
憶西院

超覚寺



RIN-O-ZAN OKU-ZEI-IN CHO-KAKU-JI
(since 仏暦2162, 西暦1619, 元和5)

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : wada@namuamidabutsu.com

HP : <http://www.namuamidabutsu.com>

<http://mytera.jp/tera/48chokakuji>

超覚寺 秋の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがとうございます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。<(一)>

◎ 2024年 秋季彼岸会(永代経)法要

9月21日(土) 13時30分～ 勤行:住職

14時～15時30分 法話(休憩有)



瓜生宗師(滋賀県東近江市玄照寺)

東本願寺の僧侶では最も法話をされている方です。
内容は難しいかもしれませんが、その熱量あふれる
話し振りは、さながらロックのライブのようです。

◎ 2024年 報恩講法要

11月16日(土) 13時30分～ 勤行:市内法中

14時30分頃～15時30分

法話・歌唱:大西貴浩師

(大谷派僧侶・声楽家)



大西貴浩先生は、上智大学文学部社会学科を卒業
後、一般企業での勤務を経て、日本オペラ協会オペラ歌手育成部
第31期修了。藤原歌劇団員を経て、現在フリーで活動されています。
昨年大好評でしたので今年もお願いました。また仏教讃歌を歌
唱いただきましたが、他に**リクエストも受けてくださる**ので、どうぞ超覚
寺までご連絡ください。私も何を歌ってもらうか思案中です。
今年は午後だけの法座になりますが、お斎はいつも通りにご用意
しております。晩御飯の心配をせずに法座に専念いただければと…。

☆ 映画「オッペンハイマー」

アメリカの原子爆弾の開発リーダー、ロバート・オッペンハイマーの
人生を描き、アカデミー賞を受賞した映画『オッペンハイマー』《一人
の天才科学者の創造物が世界の在り方を変えた…その世界に私達
はいまも生きている》原子爆弾の開発を指揮した理論物理学者オッ
ペンハイマーの半生を描いた映画。ナチス・ドイツへの恐怖に駆り立て
られながら、原爆を作り上げた栄光と歓喜、広島・長崎の市民21万人
を殺戮した事実への苦悩、水爆開発に反対したことでもスノイ容疑をか
けられ没落していく生涯を実話に基づき描きだしている。

「原爆に対してかなり自省的・批判的・批判的。私はちやうどアメリカ9
0年代に行って2000年代の頭までいたんですが、あの時で
はこんな映画作れなかった。これはアメリカの変化の映画だと思っ
ています(政治学者・上智大学前嶋和弘教授)」

クリストファー・ノーラン監督は、原爆投下の成功で英雄となったオッ
ペンハイマーに、ただだれていく皮膚や黒焦げの死体、被爆者を連想さ
せる幻覚をみせている。オッペンハイマーの足元に黒焦げの死体があつ
たシーンは一番響いたが、長崎の有名な「黒焦げになった少年の写
真」と似たようなものが映画に入れられたのは、すごく考えさせられる。

アカデミー賞7部門受賞、伝記映画・興行収入、歴代1位。アメリカ
が直視してこなかった『加害の歴史』でもあるこの映画の何かが人々
の心をつかんでいるのだろう。ハリウッドの俳優たちが核廃絶を訴え
始め、若者の間に広がっているようだ。ウクライナやガザの戦争で核兵
器への関心が高まる中、映画の世界的大ヒットで“核兵器の脅威”を
今に伝える被爆者や被爆地への注目にもつながって欲しい。原爆被
爆者の映像が取り入れられていないことはこの映画の弱点かと思わ
れたが、オッペンハイマーのセリフの中に何十カ所も被爆の実相にシヨッ
クを受けたことが込められていた。あれで充分だったのかもしれない。